

訓練実施結果概要

訓練目的	横浜市、防災関係機関、市民、企業、NPO等との協働による総合的な訓練を、実災害において使用する学校や地域の施設等で実施することにより、発災時における迅速・的確な初動活動と、相互の連携体制を強めるとともに、市民防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る。
日時	平成20年8月31日（日）8:30～15:30 平成20年9月1日（月）8:00～11:40 他
会場	1 戸塚区内各所（豊田中学校、秋葉小学校・秋葉中学校、柏尾小学校、(株)日立製作所横浜事業所、東品濃小学校東側道路、戸塚区役所、戸塚高校、戸塚スポーツセンター） 2 横浜海上防災基地 3 横浜駅周辺 4 横浜市役所
規模	参加機関(団体) 62機関、参加人員6,900名
想定地震	南関東地域(相模湾)を震源とするマグニチュード7.9、市内最大震度7の地震が発生し、特に戸塚区内の被害は甚大で家屋の倒壊や道路の損害をはじめ、電気・ガス・水道等のライフラインにも大きな被害が発生している。また、各所で火災が発生し、多数の死傷者が出ている。
訓練項目	1 戸塚区内各所 (1) 地域防災（医療救護）拠点訓練・学校訓練 ア 避難誘導訓練 イ 地域防災（医療救護）拠点開設運営訓練 ウ 要援護者対策訓練 エ 応急救護活動訓練 オ 資機材取扱訓練 カ 救援物資受入配布訓練 キ 災害ボランティアセンター開設訓練 ク 児童引取り訓練 他 (2) (株)日立製作所横浜事業所における訓練 ア 避難誘導訓練

	<p>イ 救出救助訓練 ウ トリアージ訓練 他</p> <p>(3) 東品濃小学校東側道路における訓練 ア 緊急交通路確保訓練 イ 道路啓開訓練 ウ 救出救助訓練</p> <p>(4) 戸塚区役所における訓練 区災害対策本部運営訓練</p> <p>(5) 戸塚高校における訓練 救援物資受入配布訓練</p> <p>(6) 戸塚スポーツセンターにおける訓練 多数遺体取扱訓練</p> <p>2 横浜海上防災基地における訓練 帰宅困難者対策訓練</p> <p>3 横浜駅周辺における訓練 連絡本部等設営訓練 情報受伝達訓練 他</p> <p>4 横浜市役所 (1) 情報受伝達訓練 (2) 職員動員訓練 (3) 市本部審議訓練 他</p>
<p>訓練の特徴</p>	<p><u>1 住民主体の防災訓練の実施</u> 戸塚区では、5月に住民や防災関係機関を中心として立ち上げた「訓練運営委員会」が立案した訓練を、実際に地域住民が震災時に避難生活をする地域防災拠点を使用し実施した。</p> <p><u>2 実災害に即した訓練の実施</u> (株)日立製作所では、既存の施設を活用し、日立自衛消防隊や戸塚消防団による避難誘導、消火訓練や、消防、警察、自衛隊による救出救助訓練、日本赤十字や国立病院機構横浜医療センター（YMAT）によるトリアージ、応急救護訓練などの実戦的な訓練を実施した。</p>

<p>参加機関</p>	<p>八都県市広域応援協定自治体 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、千葉市、さいたま市</p> <p>陸上自衛隊第31普通科連隊 海上保安庁横浜海上保安部 神奈川県警察本部、戸塚警察署 指定公共機関 N T T東日本(株)-神奈川、(株)N T Tドコモ神奈川支店、東京電力(株)藤沢支社、日本赤十字社神奈川県支部、東京ガス(株)横浜支店</p> <p>指定地方公共機関 (社)横浜市医師会・戸塚区医師会、(社)横浜市歯科医師会・戸塚区歯科医師会、(社)横浜市薬剤師会・戸塚区薬剤師会、(社)神奈川県トラック協会、(社)埼玉県トラック協会、(社)千葉県トラック協会、(社)東京都トラック協会、東日本旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、京浜急行電鉄(株)、相模鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)</p> <p>協定機関 (社)横浜建設業協会(横浜建設業防災作業隊戸塚方面班)、(社)神奈川建設重機協同組合(災害救助隊)、(社)神奈川県エルピーガス協会、横浜市アマチュア無線非常通信協力会、赤帽首都圏軽自動車協同組合神奈川県支部、富士シティオ(株)、生活協同組合コープかながわ、横浜中央市場青果卸協同組合(水浅青果(株))、横浜南部市場青果卸協同組合(株)川原青果)、金港物産(株)、浜一運送(株)、災害ボランティアバイクネットワーク関東神奈川支部、神奈川県葬祭業協同組合</p> <p>市民参加組織等 戸塚区訓練運営委員会、柏尾小学校地域防災拠点運営委員会、秋葉小学校地域防災拠点運営委員会、豊田中学校地域防災拠点運営委員会、戸塚消防団、N P O法人救助犬訓練士協会、N P O法人神奈川救助犬ネットワーク、赤十字防災ボランティア、神奈川県山岳赤十字奉仕団、舞岡柏尾地域ケアプラザ、下倉田地域ケアプラザ、戸塚区災害ボランティア、戸塚区民生委員児童委員協議会 企業・団体等</p>
-------------	--

国立病院機構横浜医療センター、(株)日立製作所横浜事業所、(財)横浜市体育協会（戸塚スポーツセンター）、横浜駅西口建築物等総合共同防火管理協議会、横浜駅東口建築物等共同防火管理協議会

学校

柏尾小学校、秋葉小学校、秋葉中学校、豊田中学校

横浜市

<p>訓練の成果</p>	<p>横浜市では、地域住民が参加しやすい環境作りに配慮し、初めて9月1日以外の8月31日の日曜日に訓練を実施した。その結果、地域防災拠点訓練では、平日では参加が難しいと思われる年齢層の参加が多く見受けられた。</p> <p>また、地域防災拠点訓練の実施場所となった3か所4校の小中学校では訓練日を授業日として位置づけ、地域防災拠点訓練と合同で学校防災訓練を実施した。</p> <p>訓練は、「自助・共助」の充実として、一昨年から取り入れた地域分散型訓練を継続して実施し、3つの地域防災拠点では、地域防災拠点運営委員会と学校が訓練計画の策定から運営まで連携した自主的な訓練を実施した。</p> <p>それぞれの地域で特徴ある訓練としては、地域医療救護拠点の開設、要援護者対策、保護者による児童引取、災害ボランティア受付などが行われた。</p> <p>(株)日立製作所横浜事業所内における倒壊建物を想定した救出救助訓練では、自衛消防隊、消防団、救助犬、警察、自衛隊、消防、日赤医療班などの防災関係機関が連携した訓練を実施したが、さらに本年3月に編成された横浜救急医療チーム(YMAT)も参加するなど「公助」の充実に向けた連携も行われた。</p>
<p>八都県市以外の 広域応援</p>	<p>なし</p>
<p>今後の課題</p>	<p>地域住民の意見を反映し、地域ごとに特徴ある訓練を実施した。次年度以降も、住民主体の自主的な訓練とするため地域分散型訓練を継続することにより、それぞれの地域ニーズを反映した、より実践的で効果的な訓練を実施し、「自助・共助」力の一層のアップを目指す必要がある。</p>